

2022/9/17 ニセコの秘境2座：岩内岳1085m・雷電山1211m

CL S田、雷電班L N沼、SL I井、S藤、K原、W邊、M江、G藤、S山、Y樫、U田、O田 天候：曇り/爆風のち晴れ
気温：20℃前後、往復17.3Km、所要9時間10分、登り4時間45分、下り3時間50分、獲得標高差1370m
7:22登山口→9:48岩内岳11:24幌別岳→12:08雷電山・昼食12:35→14:45岩内岳→16:30下山

ニセコ連峰中最もアプローチが難しい、「近くて遠い」雷電山にチャレンジ。かつては雷電海岸の奥、秘湯朝日温泉からの登山道があり当会でも登頂歴ありですが、2010年豪雨で林道決壊、温泉は休業し登山道もほぼ廃道に。2017年8月は時間切れで岩内岳までで断念。今回は「長距離、長時間、羊蹄山並みの標高差」ながら、12名の会員が参加し元気に歩いてきました。夏と秋のはざまで、爽やかな稜線歩きを期待しての山行でしたが、、、



登山道は旧ゲレンデ。廃止20年を経て森が再生中。振り返れば日本海、漁港、市街地、田園のモザイク。2時間半で岩内岳山頂着、予定通り着々と。ガスと強風がお出迎え。飛ばされそうな爆風にカッパ着用する。左に目国内岳北斜面、眼下にパンケメクンナイ湿原、前方に幌別岳雷電山を見ながらの稜線歩き(だったはず)。



背の低いハイマツと笹の回廊。夏も冬も風が強く過酷なところなんだろう。ひっそりと五つ沼。タヌキ?の足跡も。緩やかに登ったり下りたり、途中春には一面お花畑になるであろう広場もあり長丁場を飽きずに歩けた。



笹の平原の中にぽつんと山頂標識。眺望ナシ山頂感ナシ。でもここに来たかった。ニセコ連峰コンプリートの瞬間。何も無い山頂で昼食後帰途につく。スキーに良き斜斜面をトラバースして、岩内岳が見える頃ようやく晴れてきた。



目国内も雷電も一日ガスの中。振り返るとまだ夏の気配の岩内岳が静かに佇んでいた。たら丸くんがまたおいでと言ったから、次はスキーシーズンに再訪してみませんか？強烈北西風に吹かれてみましょう。雪が真横から叩きつけてきますよ(笑) 元岩内町民 O田